CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要

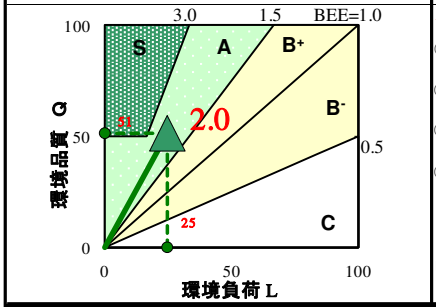
建物名称	(仮称)松原三宅物流施設計画	階数	地上4F
建設地	大阪府松原市三宅西	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、準防火地域	平均居住人員	580 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2024年9月30日
敷地面積	49,261 ㎡	作成者	清水建設株式会社関西支店一級建築士事務所 野上雅也
建築面積	30,149 ㎡	確認日	2024年9月30日
延床面積	116,510 ㎡	確認者	清水建設株式会社関西支店一級建築士事務所 野上雅也

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =2.0 ★★★★☆

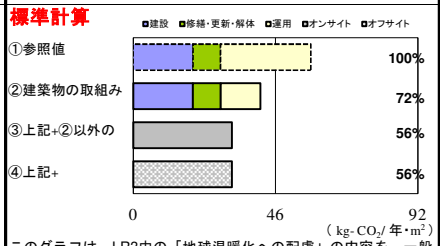
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

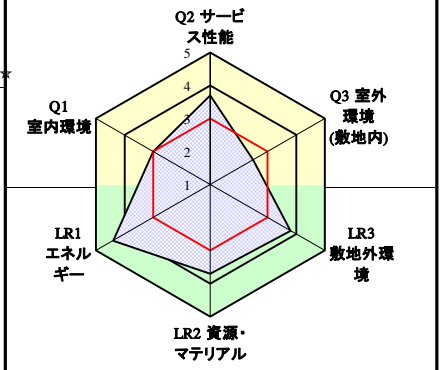
☆☆☆☆☆

30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

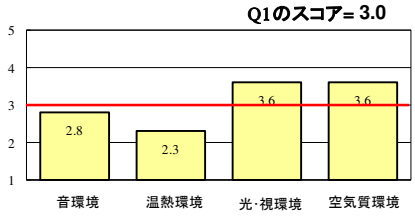
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



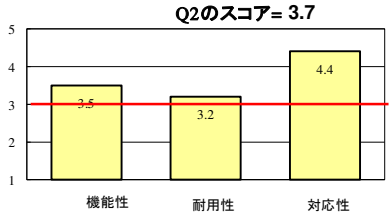
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 — Qのスコア = 3.0

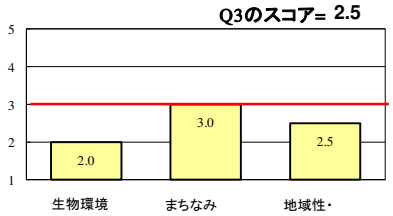
Q1 室内環境 — Q1のスコア= 3.0



Q2 サービス性能 — Q2のスコア= 3.7

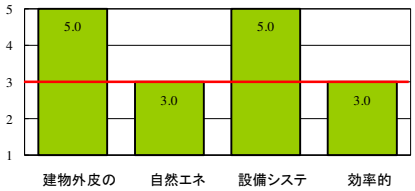


Q3 室外環境(敷地内) — Q3のスコア= 2.5

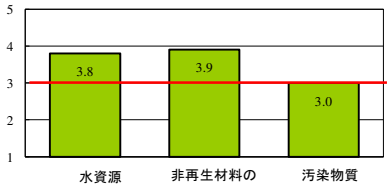


LR 環境負荷低減性 — LRのスコア = 4.0

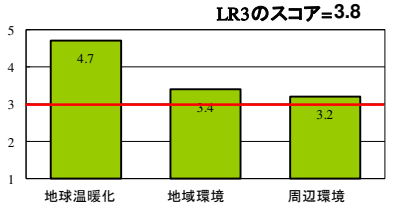
LR1 エネルギー — LR1のスコア= 4.4



LR2 資源・マテリアル — LR2のスコア= 3.7



LR3 敷地外環境 — LR3のスコア=3.8



3 設計上の配慮事項

総合

本計画は、外壁に断熱性の高い外装材を採用することで熱負荷の軽減を図っていることに加え、太陽光発電を設置する等、省エネルギーに配慮したものである。

その他

特になし

Q1 室内環境

高い昼光率を確保する他、建材にはF☆☆☆☆を採用し換気量も基準値以上とするなど、居室環境に配慮している。

Q2 サービス性能

十分な階高を有している他、将来の更新・修繕時にも配慮した計画としている。

Q3 室外環境(敷地内)

敷地外周部に緑地を設け、建物の道路からセットバックして配置することにより、周辺環境への圧迫感軽減に配慮している。

LR1 エネルギー

適切な断熱材の選定や窓開口を極力計画しないことで外皮性能を高め、省エネルギー性に配慮した計画としている。

LR2 資源・マテリアル

節水型小便器・大便器や自動水栓を採用し節水に配慮した計画としている。

LR3 敷地外環境

燃焼設備を設けないことで大気汚染に配慮した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency(建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality(建築物の環境品質)、L: Load(建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction(建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency(建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム　2018年版

受付番号	R6-0064

大阪府の重点評価（結果）

Osakafu-新築・既存 2024V1.1

【建物概要】	建物名称	（仮称）松原三宅物流施設計画
	建設地	大阪府松原市三宅西
	用途／区分	事務所 工場

【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆	A
①	CO2削減	★★★★★	5
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★☆☆☆	2
③	断熱性能	★★★★★	5
	建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル / 住宅(住棟)又は複合建築物の住宅部分	評価対象外	評価対象外
④	エネルギー消費性能	★★★★★	5
	建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル / 住宅(住棟)又は複合建築物の住宅部分	評価対象外	評価対象外
	非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分	☆☆☆☆☆☆	6
⑤	自然エネルギー直接利用		—

	再生可能エネルギー利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

	エネルギー消費量の報告	報告しない

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境　1. 地球温暖化への配慮	4.7	5
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内)　1. 生物環境の保全と創出	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内)　3. 2 敷地内温熱環境の向上	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環　2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー　1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー　3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー　2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		